

合格体験記

氏 名:

担任講師:

嶋野 萩田

先生

在籍校舎:

王子

校

進学先

早稲田大学 商学部

その他
合格校

*入試に役立った先生のアドバイス・勉強方法や、合格につながった体験・エピソード等を書いてください。

私がこの稲門学舎に入ったのは高2の夏休み前でした。目的は学校のテストの成績が悪く、ピンチだったからです。取った教科はその中でも特に悪かった英語と数学で担当はそれぞれ嶋野先生と萩田先生でした。入ったばかりの頃は数学が一番苦手で学校のテストでも赤点を取ったりしていました。そんな私を見て萩田先生は高校数学、それよりも基礎である中学数学から一つ一つ分かっていこうと丁寧に教えてくれた。それと同時に苦手で嫌いだという意識をなくすために面白くところも教えてくれました。今考えると、基礎を高2の内にしっかりできたこと、そして何より数学の面白さを知ったことがこの後の合格までの勉強の中で最も重要な部分になったと思います。そして、一通り基礎が終わり学校のテストでも良い成績を残せるようになりまわした。その頃には高3も近づき周りには受験生と切り替わっていきまわした。そこで私も大学を意識しはじめ、次第に目標は次のステップである模試で点数をとることへと変わっていきまわした。そこから今まではどう応用的なことであわたり、点数を取るような勉強を教えてくれました。具体的には記述において要となる採点者が見るような部分の書き方など、色々教えてくれました。この点を取ることを意識したことには本番までずっと役に立ちまわした。英語は数学が面白くなり数学ばかりをやったことで更に成績が下がりました。そんな状況にいてまでも大学に行けたのは嶋野先生のおかげでした。嶋野先生は実は私の通っている高校の5つ上の先輩でした。そのようなこともあり学校の試験のことや、学校のカリキュラムも把握してて



稲門学舎

私にとってもびっくりしたのは進め方で英語を教えてく
くれたこと。英語は数学よりも基礎をしっかりと
りとやり、特に苦手であった長文の演習を中心
にやりました。ここでも数学と同様に一文
一文の構造を細かく見て丁寧にしっかりと進
めることを重視しました。英語はすぐには成
績が上がらなかったこともあり基礎をやる時
間にとっても長かったです。そんな中、ある時
から昔に比べ明らかに長文が読めるようにな
ったのと実感できるようになりました。それ
は夏休み後の模試の長文を読んだ時でした。
考えてみると、長休み中講習でほぼ毎日と言
っていいほど長文を読んでいた。その契
机が少しは役に立ったのだと思いました。こ
こから英語には毎日触れることを意識しまし
た。それが最も重要だと嶋野先生に教えられ
続け、また自分で実感したからです。こ
うこのように私は二人の素晴らしい先生に指
導をしてもらい、大学合格までの長い道のり
を支えてもらいました。そして最終的には下
学進学をすることになりました。

嶋野先生、萩田先生

ありがとうございました